

八代市男女共同参画推進情報誌

# Mi★Rai

みらい



男女共同参画宣言都市  
八代市シンボルマーク

第9号



介護技術・家族介護者交流教室  
千丁公民館、麦島公民館にて

八代市が開催している介護の講習会にお邪魔しました。半数の人が実際に家族を介護中ということもあり、熱心に質問する様子が見られました。夫婦で参加された女性は「夫と一緒に九十八歳の義母を介護しています。元気で長生きして欲しいです。」と話しました。

高齢社会では家庭内での介護が必要になってくる場合が増えています。早くから誰が、どのように介護をするのか話し合っておく事も大事です。男性も女性も自分らしく豊かな老後を送りたいものです。

## CONTENTS

- ・特集  
「<sup>あなた</sup>がんばっている男性へ♥」
- ・シリーズ「キラット☆さん」
- ・おしらせ

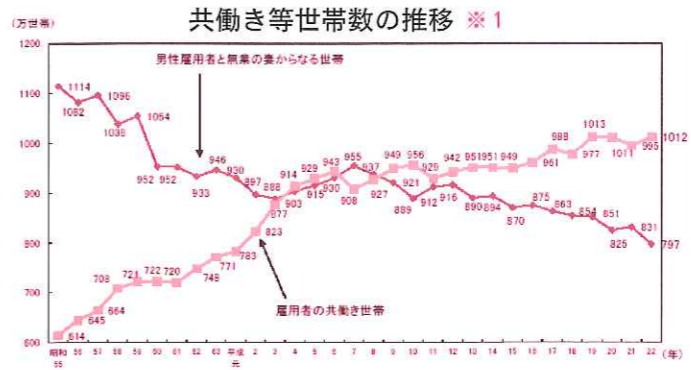
# あなたが がんばっている男性へ



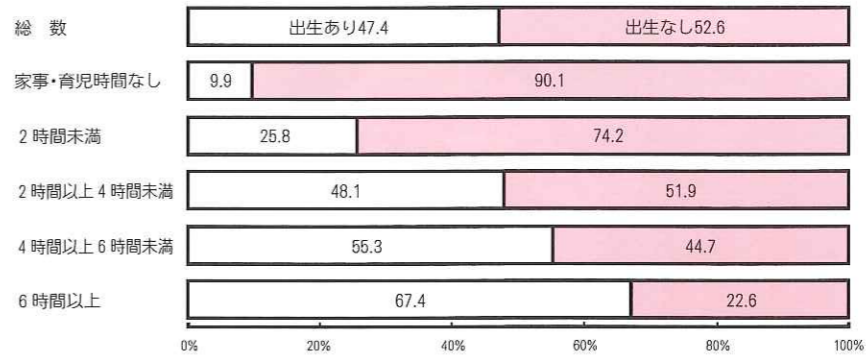
「男性だから」という意識が、あなたにとっても、社会にとっても重荷になっていませんか？  
もう少し肩の力を抜いてあなたらしく暮らしてみませんか？

さんが勉強会でもらった資料を見ながら、さんと井戸端会議を始めました。

あつてよか  
大黒柱の  
二本どま



夫の休日の家事・育児時間別にみたこの8年間の第2子以降の出生の状況 ※2



産むつもり  
あなたの協力  
期待して



共働きの世帯が増えているのね。  
女性が外に出ることが普通のことになってきたってことかしら。  
この経済状況で、結婚して、子どもを育てていくことへの不安も大きいし、先行きの不透明さも加わって、誰か一人に家族みんなが一生おんぶされていくのか、わからなくなってきたなあ。  
でも、働ける人が、しっかり働いて、そんなに悪いことではないですね。そこで、男性が、女性かかって考えなくてもいいんじゃないかな。  
大黒柱は一本じゃなきゃダメなんて、決まっちゃいないものね。  
経済的な安定もだし、やりがいとか人が人生に求めるものって、いろいろあるんだから、働き方もそれぞれあってもいいよ。

なんとなく、そうじゃないかなあと思ってたけど、男の人が家事や育児に参加してくれると、こんなにも出生率が上がるのね。少子化が問題になっているけど、こんなところにある解決の糸口があったんだね。男の居場所が家庭にないなんてこともなくなるし、いい事なんじゃないかな。  
子どもを、欲しいと思ってる人って予想以上に多いのかも。でも、踏み切るためには協力が必要なのね。  
でも、育児をする子どもとの距離も縮まるし、パパと楽しく遊ぶたくさんの子どもの笑顔が浮かんでくる。

でも、実際には離婚したりして、ひとり親になる家庭も多いんだよ。そんな状況になったとき、男女で受けられる助成に差があったらいい。  
知らなかったんだけど、母子家庭には以前から医療費の助成制度があったのに、父子家庭も対象になったのは平成19年4月からだったんだって。男性は女性に比べて経済的に安定しているから、必要がないと考えられてたみたい。  
でも、女性だって、本人や同居している家族の収入が多ければ受けられなかったんだし、男性だからってというのは不思議...  
そう、男性の場合も、転職があったり残業が多い仕事は続けられず転職したり、働き方を変えたりして、所得が下がる人もいます。  
シングルファザーになって、都会で生活できず、身内のいる故郷に帰ってきて、職探しから始めた人の話を、記事で読んだことがあるわ。大変だったけど、就業支援事業を利用して助かったそうよ。  
父子家庭も助成が受けられるようになって、男性のためにも、世の中がやっとな歩踏み出したところかな？

特に、助けてほしいとは口が裂けても言えない！みたいなの。  
こうやって、話してみると男女共同参画が、女性だけのものではないって、ホントだね。  
ちゃんと思いを吐き出して、男性がいきいきしてくれれば私たちも楽しいものね。  
すべての人が、そのらしく生きられるために、それぞれ必要なものがあって、男か女かは意外と関係なかったりするのかもしれないなあ。

い将来をもうらう年齢の私としては、考えちゃうなあ。  
「男たぐい泣くな」と言われる  
不公平



見出し及びイラストは、ジェンダーかるた(八代みらいネット)ジェンダー川柳(女性グループネット(ワーク八代)から引用しました。

ひとり親家庭世帯数 ※3 (世帯)

	一般世帯数	男親と子どもから成る世帯	女親と子どもから成る世帯
熊本県	686,123	8,540	57,059
八代市	47,257	637	4,211

日本一  
子育てしやすい  
町めざそう



そういえば最近、妻や親を介護する男性も徐々に増えているみたい。  
介護のために転職・離職する人は男女とも増えてきているみたいだし、高齢の親御さんを病院に連れてくる息子さんをよく見かけるわ。  
ほかに頼れる人がいなくて切羽詰まってやってくる人が多いのかもしれないけど、だからこそ、孤立化しやすいのかもしれない。高齢化が進めば、ますます増えるんだろう。  
大切な人を見るって、誰もが当然と思ってるけど、実際に介護するって、心身ともに疲れるのよね。  
それまで家事と縁のなかつた人にとっての負担は計り知れないものがあると思うわ。  
親を看る年齢であり、近

※1 昭和65年から平成13年は総務省「労働力調査特別調査」(各年2月)。ただし、昭和65年から昭和67年は各年3月、14年以降は「労働力調査詳細集計」(年平均)より作成。  
※2 21世紀成年者断続調査9回目。集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。  
①第1回調査から第9回調査まで双方が回答した夫婦  
②第1回調査時に独身で第8回調査までの間に結婚し、結婚後第9回調査まで双方が回答した夫婦  
③出生前調査時に、子ども1人以上ありの夫婦  
・家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第8回調査時の状況である。  
・8年間で2人以上出生ありの場合、総数には、家事・育児時間不詳を含む。

# シリーズ キラット☆さん

佐川急便で女性初の店長を務める大西さんにお話を伺いました。



大西 由希子さん

## \*入社でのきっかけは？

ソフトボールをやっていたので身体を動かすことが好きだった。また宅配業者の人を見てキビキビしてかっこいいイメージがあり興味もあった。同業他社でアルバイトをしていたが、正社員で入れる機会があったので入社した。

## \*男性ばかりの職場で抵抗はなかった？

兄と弟がいるのであまりなかった。入社当時は従業員30人中紅一点だったが、男性と対等に接してくれた。今、会社は従業員の30%を女性が担う体制づくりに取

り組んでいる。女性が増えてきて活躍するための制度もできつつあるが、もっと働きやすい環境づくりを考えていきたい。

## \*店長になってどうですか？

楽しくやっている。また一日一回は全員に声をかけるように心がけている。キチンと話せばみんな分かってくれる。「今まで店長と話したことがなかったが、女性だから話しやすいし、一声かけてもらうからうれしい」といつてもらえる。私もうれしい。

## \*働く女性へのメッセージを

女性の働き方はいろいろなパターンがある。それぞれの女性の働き方を応援したい。以前は妊娠したら退職していたが、今は、妊娠中は事務で働き出産後にまたドライバーで働く人もいる。男性で育児休暇を取る人も出てきた。いろいろな制度があることを知らない人もいるので皆さんに知らせることも大切だと思う。

大西さんの後に続く女性管理職がまだ少ないようですが、一人ひとりの業務日

誌に毎日コメントを書いてスタッフとコミュニケーションをとって、どうすれば女性も男性も働きやすい職場になるかを常に考えている素敵な女性でした。

# いっしょDEフエスタ2013

## 【テーマ】

向きあい・語りあい・認めあい、男女にめざそう調和の社会

## 【開催日】

平成25年1月27日(日)

## 【会場】

やつしろハーモニーホール  
▽託児あり  
(要予約・6ヵ月〜就学前)

## 第1部

午前10時〜

## ▼八代みらいネットによる ワークショップ

○昔話で学ぼう

〜自分で選ぶ自分らしさ〜

○い草で作ろうリース飾り

○ジェンダーフリーを

楽しく学ぼう

○ピタゴラ装置を作って遊ぼう

○男女のほのぼのフォトグラフ

○創立50周年の

新日本婦人の会です

## 八代みらいネット会員募集!!

私たちは、男女ともいきいきと暮らす社会づくりを目指して、地域で活動する個人や団体が集まり、行政との協働で様々な取組を行っています。あなたも一緒に活動してみませんか。

【お問合せ先】八代みらいネット事務局  
(八代市人権政策課内) ☎30-1701

## 第2部

午後1時30分〜

## ▼オープニング

## ▼標語表彰式

## ▼講演

「男女共同参画社会実現の先に私たちの暮らしは、どう変わるのか」

講師 杉尾 秀哉さん

(TBSテレビ報道局 解説・専門記者室長)



▽入場無料 ▽手話通訳あり

## 【お問合せ先】

市役所人権政策課

☎30-1701 (直通)

## 編集後記

○今年から編集に携わることとなりました。初めての経験でしたが、先輩達と共に「産みの苦しみ」を楽しく味わうことができました。

○30年ぶりに会った同級生に、「ちゃんと化粧した方がいい」と力説された。やっぱり女性はすっぴんじゃいけませんかねえ。

○12年間家族の一員として皆を幸せにしてくれていた愛犬が旅立ちました。今まで本当にありがとう!!

○取材予定の防災訓練が台風で中止に。「エッ、そんなあ」さあどうする／どうする？色々あったが、どうにか無事発行にこぎつけました。

○今回も取材で輝いている人に会った。キラット☆さんに登場した大西さんだ。5?歳の私も見習いたいことばかり。元気をもらえた。

ボランテニア  
編集スタッフ  
賀久小夜子  
片岡 雪子  
可徳 陽子  
穂波 敬子  
増田 真弓

